

発災前提に準備進める

立川防災基地を会派で視察

第11回都道府県議員研究

交流大会のため、11月15日に上京しました。400人を超える議員が参加する大きな大会です。時事通信社の加藤清隆解説委員長が基調講演されましたが、政治漫談で笑えました。第5分科会「議会の政策形成機能強化の取り組みと大学・研究者との連携」にも参加。パネラーは江藤俊昭・山梨学院大学教授、金沢忠一・山形県議、藤田豊。徳島県議の3人。両県議会も大学と包括連携協定を結んでおられ、示唆に富む意見が聞けました。

16日は日中緑化基金事務局、観光庁、文化庁、警察庁、厚生労働省、国土交通省の担当者から聞き取り調査をしました。1日8件の

面会は疲れます。

17日からは長谷川議員、国岡議員が合流。「食のみやこ鳥取プラザ」でお話を伺い、2階のレストラン「モントマーレ」で食事もしました。1階の物販もそつで



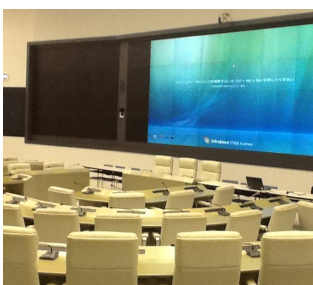
災害医療センター

ですが、地価の高い東京での展開の難しさを感じました。午後は立川市の防災センターへ。災害医療センターでは、災害時の情報共有の重要性を再認識し、日赤



ハイパーレスキュー

備蓄基地、ハイパーレスキュー隊を見学しました。18日は鳥取県東京本部を訪問。午後は森岡議員も合流し、総務省、経済産業省、原子力安全・保安院の担当者から話を聴き、都防災センターを見学して帰路に着きました。災害は必ず起きると臨戦態勢の真剣さを感じました。



東京都防災センター

会派と語る夕べ 鳥取市内で開催

「会派かけはしと語る夕べ」を鳥取市内で開催しました。智頭、倉吉に続き、3回目の開催。年末でもあり、ビールを片手に気軽に話す会として企画しました。

政治家の集会と言えば、政治家や来賓が一方的に話



和やかだった語る夕べ

すだけですが、語る夕べは、県民の皆様にはっきり、質問や意見を言っていた会です。質問や意見は多方向に渡りますから、議員の資質を問われる真剣勝負の場となります。ですが、知らないことは率直にお聞きし、勉強をさせていただきます。

今回も雇用や道路整備から会派のあり方まで様々なご意見、ご批判を頂戴しました。声はしっかり県政へ届けます。語る夕べは今後も続けますので、どうぞご参加下さい。

編集後記

年賀状も自筆以外出せないのが公職選挙法の定め。皆様は大変失礼を致しましたが、どうぞ御理解下さい。当選の御礼禁止もそうですが、本当に変な法律です。最後になりましたが、今年もよろしくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

メガソーラー県内でも

雇用・エネルギー特委が三重と淡路で調査

エネルギー・雇用促進調査特別委員会は11月9、10の両日、三重県庁と兵庫県淡路市を訪れて県外調査をしました。三重県庁では、

横山委員長が「伊勢国体に陸上監督で来ましたが、そのとき優勝したのが瀬古俊彦さん。指導していた高校生が2位でした」と挨拶されたところ、「高校時代に

瀬古を破ったことを誇りにしている県職員がいます」という話が飛び出し、場が和みました。瀬古さんは三重県の誇りですね。

「三重県新エネルギービジョン」の説明を聞きましたが、熊野灘のメタンハイドレードを2030年を目標に開発するなど様々な取り組みがなされています。



あわじメガソーラー1

大のソーラー発電施設で、市役所、防災センター、浄水センターの電力を賄い、閉庁日は売電しています。県外企業の誘致でなく、自ら設置者となられたことに感心を致しました。

砂場隆浩県政広場

〒680-0023
鳥取市片原1丁目107
TEL: 0857-50-0130
FAX: 0857-50-0641
http://www.tottori-kodomo.jp/
tottori-kodomo@olive.plala.or.jp